

✦ ガバナーメッセージ

ガバナー公式訪問を終えて — 国内82クラブへの報告として —

国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之



今年度の公式訪問での私の関心事項は、

- ① 未だ会員減少傾向が続く中でそれぞれのクラブの会員増強、維持への対応。
- ② 3年前からクラブに推奨したクラブ・リーダーシップ・プランの採用状況。
- ③ 継続的奉仕プロジェクトに加えた新たな奉仕プロジェクトの計画とそのクラブを超えた事業の可能性。
- ④ ロータリーの公共イメージを高めることを目的としたこれからのクラブ広報のあり方、特にクラブホームページの活用でした。以上4点を各クラブ共通の話題とさせていただきました。

① については、クラブの存在基盤そのものの問題であり、会員数の減少が、クラブ運営・奉仕活動に現実的な支障をきたし、特に財政面への影響を苦心しているクラブが相当数ありました。一クラブ平均50名を超える我が地区でも、詳細に個々のクラブを見てみると、深刻な状況にあることを再認識させられました。半数近いクラブが、クラブ協議会で「会員増強」をテーマとして、真剣に現状を分析、その対策を協議しておりました。数々の優れた方法や対策が散見されましたが、中でも伝統あるクラブである東京西RCの「Ten for Two」や東京南RCの「グリーンテーブル」の中に参考とすべき知恵と工夫が蓄積されておりました。

② については、従来の細則をもとにCLPの考え方を取り入れ、四大奉仕委員会を中心に、クラブ運営と奉仕活動を考えているクラブが数クラブありましたが、それ以外は現在の推奨ロータリークラブ細則をもとに条文をクラブ独自に見直しCLPの考え方を採用していました。しかし、CLPが「can be customized to fit the needs of each Rotary club」にもかかわらず、ほとんどのクラブは以前の推奨ロータリークラブ細則の委員会構成の呪縛から開放されていない状況でした。つまり、会員数の少ないクラブでも、5大常設委員会の下に、従来の小委員会を数多く設置したり、会員を重任させている

ところがほとんどでした。CLPの委員会構成の基本は、クラブ運営管理委員会と奉仕プロジェクト委員会の二つです。広報、会員増強は前者に、ロータリー財団は後者に含めてよいものであり、今日的に意味のある重要委員会として5大常設委員会に例示されたとは私は考えています。この二つの委員会の下に、それぞれのクラブが必要に応じてcustomizeし新たな委員会を設置できるのです。例えば増強・選考・分類、各委員会を一纏めにしたり、SAAと親睦のふたつの役割を担わせた新たな委員会を作っても良いのです。委員会の簡素化の真髄である第10条の「委員会の任務」に関わらず、依然、従来通りの十数種類の委員会を規定し、その任務を丁寧に規定しているクラブもありました。

③ については、各奉仕委員会とその活動予算を不可分にし、しかも毎年ほぼ固定化しているクラブが多く、従来の奉仕プロジェクトが前向きに継承されるというよりは、新たなプロジェクトを生み出す疎外要因になっている印象を持ちました。特に会員数の少ないクラブにはFund Raisingを含め、奉仕委員会を細分予算化せず、奉仕プロジェクト委員会に一括予算付けし、新たな年次毎の強調プロジェクトを立ち上げることを推奨しました。

今年度地区にパイロットプログラム委員会を設置した意味との関連で、これからのクラブ奉仕事業のあり方として、単独でなし得ない事業は、クラブを超えてグループ・地区との協同事業として開発されることが望ましいことを強調させていただきました。

④ については、広報活動は一つひとつのクラブの広報が基本であり、活字と映像の双方の媒体による広報、特にこれからはクラブホームページの活用の意義を強調させていただきました。今後は、クラブの地域社会での活動記録を掲載し、毎月ないし3カ月に一度の書き換えをし、ロータリアンのみならず一般市民がクラブホームページを開けるような工夫を話し合いました。

GM INDEX

✦ ガバナーメッセージ

✦ 2008-2009年 DTLS (地区研修リーダー研修セミナー) に参加して [2009-2010年度 第2750地区研修副リーダー 松下 昌夫 (東京城南ロータリークラブ)]

✦ 文庫通信 / 寄付報告 / 物故

✦ 出席報告 / 編集後記

<http://www.ri2750.org/>

✦ ガバナーからのお知らせ

国際ロータリー細則15.060.4に基づき、坂本俊雄直前ガバナーより、昨年度の年次財務報告書並びに地区特別会計報告がクラブ会長宛てに提出されました。

来る11月26日(水)クラブ代表者会議で審議されることとなります。各クラブは代表者1名を選挙し、当日代表者会議にお送りください。これまででは地区大会で審議していましたが、上記細則により、この方法を採用いたしました。

**At completion of The Governor Official Visiting
- Visiting Report for the Domestic 82 Clubs -**

My interesting points about the official visiting this time are as follows:

1. Activities at each club for increasing and keeping memberships on decreasing the number of membership
2. Application status of the Club Leadership Plan (CLP) recommended to the club for these three years.
3. Plan for new service program in addition to continuous service project and availability of service above the club
4. Way of the coming club publicity that is aimed in increasing a Rotary public image, especially use of the club home page

The above four points make common topics of each club.

1. The club existence basement has some kind of problems, decreasing the memberships makes the club management and service activities of realistic difficulties and there are many clubs that are suffered from the financial effects. We have to seriously realize again when we take a look at each club in detail in spite of our district that makes over 50 Rotarians per club on average. Almost a half of the clubs have a theme of the increasing memberships at the club council, seriously analyze the present condition and negotiate the plans for it. There are many kinds of the ideas and plans here and there and we can find out a referred wisdom and idea that show 'Ten for Two' at the Tokyo Nishi (West) Rotary Club as hereditary club of ours and 'Green Table' at the Tokyo Minami (South) Rotary Club.

2. We had a couple of clubs that were implemented the thought of the current CLP and thought of the club management and service activities in the center of the four Avenues of Service, but another implemented the thought of CLP as they individually revised the articles based on the current Recommended Rotary Club Bylaws.

A basic CLP Committee organization comprises two committees as the club administration & management committee and the service project committee. I think that the former includes the publicity and the increasing memberships and the latter for Rotary Foundation and five standing committee has been significantly exemplified in the latest important committee.

Each club can be organized new committee that will be customized as needed under these two committees.

For example it is better that each committee as the increasing, the selection and the classification is put together or a new committee is created from the responsibility of SAA and Fellowship both. We have some club that still has regulated ten various committees and politely the duties instead of Chapter 10 as Duty of Committee that is an essence of the committee simplicity.

3. I impressed that there are many clubs that they don't separate the activity budget for each service committee and their budget is almost fixed every year and a traditional service program is an alienated factor to create new project more than to succeed positively. And especially the clubs that have a small number of memberships were recommended that they didn't divide small part of budget into a service committee, made a budget into a service project committee all together and launch a new annual emphasis project. The project that is not independently executed is recommended that a mutual cooperative activity with the group or the district are developed together as a way of a club service activity, that is a relation with mean of founding a pilot program committee at the district this year.

4. The publicity activity is a basis of club publicity at each club and the publicity to use the two-way media as character and image, especially the meaning of a use of the club home page is emphasized. From now on, we discuss that the club inserts the activity report for the community around the club, this report is updated every month or three months and the general citizen as well as the Rotarians can open the club home page.

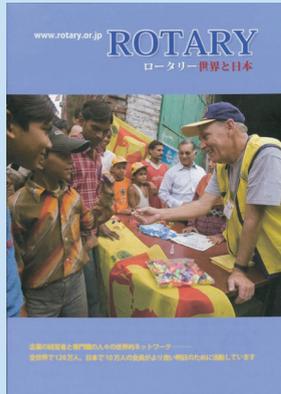
ロータリー広報のための

広報誌 **ROTARY**ロータリー **世界と日本** 創刊!

「何か、広報のツールを」という声にお応えして、広報誌「ROTARY」を作成。ロータリーの国際的な活動の紹介と、日本のロータリークラブのさまざまな活動を、写真を中心に紹介しました。

ロータリーをもっと知ってもらうためのツールです。地区やクラブで、ご活用ください。

A5判16ページ
1セット(10冊) 525円
(本体500円 消費税25円 送料別)



お申し込み、お問い合わせは
ロータリーの友事務所

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

TEL. 03-3436-6651

FAX. 03-3436-5956

米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	吉田 雅晴君	東京世田谷南	2008.9.1	15
	中島 武君	東京武蔵府中	2008.9.3	3
	山賀 浩之君	東京武蔵府中	2008.9.3	1
	小野 優君	東京立川	2008.9.4	4
	岡田 進君	東京中央	2008.9.5	8
	宇野 元義君	東京中央	2008.9.5	2
	中林 樹美君	東京武蔵府中	2008.9.9	2
	濃畑 雄四郎君	東京武蔵府中	2008.9.9	2
	松生 俊和君	東京成城	2008.9.10	1
	田村 彰君	東京日本橋西	2008.9.11	1
	矢口 敏和君	東京中央	2008.9.12	2
	末吉 傳男君	東京町田・中	2008.9.12	4
	金原 宏和君	東京立川	2008.9.16	1
	田中 清次郎君	東京立川	2008.9.16	1
	小林 真人君	東京杉並	2008.9.19	7
	西川 光雄君	東京井の頭	2008.9.24	37
	佐々木 憲一君	東京中央	2008.9.26	2
	渡辺 昌幸君	東京中央	2008.9.26	1
	竹内 隆智君	東京マリーナ	2008.9.26	1
	大塚 勇君	東京八王子東	2008.9.26	5
	鈴木 宣雄君	東京西	2008.9.29	1
	高橋 一義君	東京三鷹	2008.9.29	8

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝致します

◎関谷 辰延君	東京中央	2008.9.5
◎三田 耕吉君	東京世田谷南	2008.9.5
◎田中 則行君	東京世田谷南	2008.9.12
◎小林 真人君	東京杉並	2008.9.19
◎古屋 勝彦君	東京銀座	2008.9.26
井口 優君	東京銀座	2008.9.26
森 和彦君	東京銀座	2008.9.26
◎森 紀二君	東京銀座	2008.9.26
岡本 圭祐君	東京銀座	2008.9.26
◎三好 秀和君	東京西	2008.9.26
野川 勇君	東京町田サルビア	2008.9.26

文庫通信 (253号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

—— 最近のロータリー情報より(3) ——

◎「ロータリーのサービス・コンセプトについて考えよう」
松宮 剛 2007 9p(D.2500地区報告書)

◎「ロータリーの心と原点を大切にしよう」
廣畑富雄 2006 10p(D.2700地区大会記録)

◎「ロータリーの原点」
成川守彦 2006 15p(D.2700地区大会記録)

◎「教育という大業」
佐藤千壽 2008 12p(D.2670地区大会記録)

◎「ロータリー財団活動の成果～世界平和への貢献(シンポジウム)」
内藤幸彦 他 2008 4p(D.2590地区大会の記録特集号)

◎「CLPを理解しよう」
成川守彦 2007 5p(D.2670IM報告書)

◎「ネパールの医療活動について」
伊藤公夫 2008 3p(D.2540地区大会記録)

◎「松枯れ防止活動」
那波宗久 2008 3p(D.2540地区大会記録)

◎「ロータリーの初期の人々 - シェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・デイビッドソン」
三木 明 訳 2007 13p(D.2680月信)

◎「五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)」
ガイ・カンディカー 田中 毅 訳 4p(ロータリーの源流から)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー



文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



日野 一(東京立川RC)
2008年10月13日逝去(享年70歳)
1938年2月11日生まれ
1982年2月12日入会
1997-98年 クラブ会長(第38代)
ポール・ハリス・フェロー(マルチプル2回)
米山功労者(20回)
特別功労法人

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (9月分) ★

District 2750 Membership Attendance Report September 2008

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				08年7月1日	08年9月末	増減					08年7月1日	08年9月末	増減
千代田グループ	東京南	4	75.70	179	179	0	多摩南グループ	東京八王子	4	83.16	60	65	5
	東京芝	3	91.44	95	94	-1		東京町田	4	77.12	61	59	-2
	東京新橋	4	77.36	54	55	1		東京日野	4	75.00	43	43	0
	東京赤坂	4	71.00	54	53	-1		東京八王子西	4	83.29	68	68	0
	東京みなと	4	83.91	52	53	1		東京町田・中	4	76.14	40	41	1
	東京レインボー	4	81.25	48	48	0		東京八王子東	4	99.04	31	31	0
銀座・日本橋グループ	東京麻布	4	72.60	22	23	1	東京八王子南	4	85.72	56	59	3	
	東京銀座	4	76.54	162	164	2	東京町田サルビア	4	93.01	27	26	-1	
	東京日本橋	4	78.86	174	174	0	東京飛火野	4	75.76	32	33	1	
	東京築地	4	81.83	70	73	3	東京町田東	4	72.50	31	31	0	
	東京日本橋東	4	80.00	54	57	3	東京八王子北	4	87.90	33	33	0	
	東京中央	4	78.10	230	234	4	多摩中グループ	東京立川	4	95.02	88	92	4
東京日本橋西	4	79.07	49	49	0	東京小金井		4	97.98	40	39	-1	
東京銀座新	4	73.41	76	77	1	東京国分寺		4	94.94	54	54	0	
東京シティ日本橋	4	76.59	50	50	0	東京三鷹		4	80.70	48	47	-1	
東京中央新	4	72.15	38	38	0	東京昭島		4	75.63	50	50	0	
京浜グループ	東京羽田	4	84.58	45	51	6		東京国立	4	99.40	56	56	0
	東京大森	4	93.39	52	52	0	東京立川こぶし	4	87.39	85	87	2	
	東京荏原	4	76.42	44	58	14	東京井の頭	4	88.90	25	27	2	
	東京園調布	4	85.23	46	50	4	東京昭島中央	4	80.00	31	31	0	
	東京蒲田	3	89.86	60	60	0	東京武蔵国分寺	4	93.75	57	56	-1	
	東京荏原かめりあ			12	0	-12	東京小金井さくら	4	78.41	22	22	0	
	東京園調布緑	4	84.09	23	25	2	東京国立白うめ	4	88.75	25	25	0	
	東京品川	4	86.09	67	66	-1	多摩東グループ	東京府中	4	78.47	65	67	2
	東京大井	3	78.43	17	17	0		東京調布	3	87.43	69	69	0
	東京港南	4	67.11	19	19	0		東京多摩	4	73.37	25	29	4
	東京大崎	4	92.15	33	35	2		東京狛江	4	86.50	34	33	-1
	東京京浜	2	77.28	23	23	0		東京稲城	4	79.28	35	35	0
	東京マリーン	4	81.36	18	19	1		東京武蔵府中	4	84.25	52	54	2
	山の手東グループ	東京白金	4	83.30	33	33	0	東京たまがわ	5	73.08	26	26	0
東京高輪		3	80.00	28	29	1	東京多摩グリーン	4	79.55	32	34	2	
東京西		4	78.90	157	159	2	東京調布むらさき	4	82.14	79	84	5	
東京城西		4	78.72	75	80	5	パシフィック・ベイスングループ	Guam	4	47.46	63	64	1
東京西南		4	78.33	59	60	1		Saipan	5	64.00	45	46	1
東京原宿		4	90.91	31	31	0		Tumon Bay	5	41.82	96	102	6
東京杉並		4	80.00	44	45	1		Northern Guam	4	57.03	34	36	2
東京神宮		4	72.50	40	40	0		Pohnpei	4	40.00	20	20	0
東京恵比寿		4	75.96	100	100	0		Palau	4	75.00	16	16	0
東京広尾		4	73.39	32	32	0		Guam-Sunrise	5	66.00	34	34	0
東京渋谷		4	72.10	45	46	1		Truk Lagoon	5	75.00	7	7	0
東京六本木		4	72.00	52	51	-1	国内83クラブ計		4,478	4,571	93		
東京世田谷		3	86.42	49	61	12	地区91クラブ計		4,793	4,896	103		
山の手西グループ		東京目黒	4	80.22	48	49	1	千代田グループ	79.04	多摩南グループ	82.60		
	東京成城	4	89.00	25	25	0	銀座・日本橋グループ	77.39	多摩中グループ	88.41			
	東京世田谷南	4	80.00	92	94	2	京浜グループ	82.81	多摩東グループ	80.45			
	東京城南	2	72.00	28	32	4	山の手東グループ	77.28	PBグループ	58.29			
	東京山の手	4	84.13	68	71	3	山の手西グループ	80.80					
	東京成城新	4	82.18	43	44	1			平均出席率	79.44			
	東京青山	4	71.10	31	34	3							
	東京自由が丘	4	86.25	20	21	1							
	東京世田谷中央	4	76.67	32	32	0							

編集後記

ガバナー公式訪問も終わりました。いよいよPBG(パシフィックベイスングループ)の公式訪問が始まります…。

会員増強・維持・CLP推奨・クラブ広報のあり方等々…過激に活動を願ひ、その有様の充実した内容の記事を会員各位にお届けしたい。ガバナー月信の紙面の改革にとまどいもありましたが、はや

5ヶ月目に入りました…。従来の紙面をホームページへ移行したため各クラブ、各会員の皆さんも改めて見直されていると思います。

そのような中、新藤ガバナー・森本(ガバナー月信・IT)委員長の適切な指示のもと、記事内容の充実は当然として、明るく“夢をかたちに”(ロータリー四つのテスト)を目指し、今以上努力する所存です。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 副委員長 竹平 時彦(東京大森RC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三
竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信 高柳 数利

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当): 河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>